

# 2015年度(平成27)年度 入学生対象 履修要項変更点

詳細については、<https://monkey.fks.ryukoku.ac.jp/~kyoga/risu/#pdf> 参照

変更箇所	変更内容	変更前	変更後	変更年月
1 【8ページ】 龍谷大学の教育にかかる基本方針	文言の変更	<p><b>龍谷大学の教育にかかる基本方針</b></p> <p>建学の精神に基づいて、「平等」、「自立」、「内省」、「感謝」、「平和」の意味を深く理解し、豊かな人間性と共生(ともいき)の精神を涵養するとともに、人間教育、教養教育、専門教育を通じて、「広い学識」と「進取の精神」を持って人類社会に貢献する人間を育成する。</p>	<p><b>龍谷大学の教育理念・目的</b></p> <p><u>建学の精神に基づき、「真実を求め、真実に生き、真実を顕かにする」ことのできる人間を育成する。</u></p> <p><u>龍谷大学の教育理念・目的を実現するため設置された学部・研究科は、広く社会に貢献できる教養教育と専門教育を体系的かつ組織的に行うにあたり、各学問分野の独自性を活かしつつ、社会の要請等を踏まえた教育理念・目的を掲げ、学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受け入れの方針を一体的に策定する。</u></p>	2017年3月
2 【12ページ】 掲示板管理部署	掲示板設置場所の変更	<p>瀬田教育学部 3号館1階 グローバル教育推進センター(瀬田) 未定</p> <p>※グローバル教育推進センター(瀬田)は、2015年9月に瀬田学舎に設置される予定です。 掲示板の設置場所等は同センター設置後、ポータルサイト等で案内いたします。 それまでに国際交流に関する相談があれば、深草学舎のグローバル教育推進センター(075-645-7898)に連絡してください。</p>	<p>瀬田教育学部 ..... <b>1号館1階</b> グローバル教育推進センター(瀬田)..... <b>春光館1階</b></p> <p>※印一削除</p>	2017年3月
3 【13ページ】 休講・補講・教室変更情報について (3)公開の期間	文言の変更	<p>&lt;パソコン用&gt; 休講:休講日を含めて30日前から公開しています。 補講:予定が入り次第、随時公開しています。 教室変更(臨時):変更日を含めて30日分を表示しています。 教室変更(恒常):変更日を含めて前後30日分を表示しています。 &lt;携帯電話用&gt; 休講:休講日を含めて3日前から公開しています。 補講:予定が入り次第、随時公開しています。 教室変更(臨時):変更日を含めて30日分を表示しています。 教室変更(恒常):変更日を含めて前後30日分を表示しています。</p>	<p>&lt;パソコン用&gt; 休講:<u>連絡が入り次第</u>、休講日を含めて30日前から公開しています。 補講:予定が入り次第、随時公開しています。 教室変更(臨時):変更日を含めて30日分を表示しています。 教室変更(恒常):変更日を含めて前後30日分を表示しています。 &lt;携帯電話用&gt; 休講:<u>連絡が入り次第</u>、休講日を含めて2日前から公開しています。 補講:予定が入り次第、随時公開しています。 教室変更(臨時):変更日を含めて2日分を表示しています。 教室変更(恒常):変更日を含めて前後28日分を表示しています。</p>	2017年3月
4 【21ページ】 2. 授業科目の開設方法	文言の変更	<p>集中講義を利用して開講される科目については、下記の取り扱いとなります。</p> <p>集中講義 第2学期(後期科目) 開講期間:8月27日(木)~9月9日(木) 前期開講科目の履修登録と同時に登録が必要です。</p> <p>(注)集中講義の開講期間・開講場所などについては、別途掲示する場合がありますので注意してください。</p>	<p><u>サマーセッション</u>を利用して開講される科目については、下記の取り扱いとなります。</p> <p><u>サマーセッション 第2学期(後期科目) 開講期間・開講場所については、履修説明会・掲示板・ポータルサイト(学内者向け)等で確認してください。</u></p> <p><u>(注)履修登録できる科目数は2科目までとなります。</u> <u>授業日程が他の科目と重複する場合は、1科目しか履修登録できないので、各科目の開講日程に注意してください。</u></p>	2017年3月
5 【23ページ】 2. 履修登録制限単位数	履修登録制限単位数外の科目の追加	<p>②集中講義に開講される科目</p> <p>⑥農学部専攻科目(全学科)のうち、以下の科目 「農学部インターンシップA」、「農学部インターンシップB」、「海外農業体験実習」、「特別研究」</p> <p>⑦農学部食品栄養学科専攻科目のうち、管理栄養士免許取得に関する以下の科目 「公衆栄養学Ⅱ」、「分子栄養学」、「臨床医学概論」、「臨床病態学」、「栄養評価論」、「栄養カウンセリング論」、「臨床栄養学Ⅱ」、「臨床栄養学Ⅲ」、「臨床栄養管理学」、「公衆栄養活動論」、「給食経営管理論Ⅱ」</p>	<p>②<u>サマーセッション</u>に開講される科目</p> <p>⑥農学部専攻科目(全学科)のうち、以下の科目 「農学部インターンシップA」、「農学部インターンシップB」、「海外農業体験実習」、「特別研究」</p> <p>⑦農学部食品栄養学科専攻科目のうち、<u>管理栄養士国家試験受験資格、食品衛生管理者および食品衛生監視員の資格取得</u>に関する以下の科目 「公衆栄養学Ⅱ」、「分子栄養学」、「臨床医学概論」、「臨床病態学」、「栄養評価論」、「栄養カウンセリング論」、「臨床栄養学Ⅱ」、「臨床栄養学Ⅲ」、「臨床栄養管理学」、「公衆栄養活動論」、「給食経営管理論Ⅱ」、「<u>栄養疫学</u>」「<u>食品機能論</u>」「<u>食品加工学</u>」、「<u>スポーツ栄養学</u>」、「<u>有機化学</u>」</p> <p><u>⑧その他 「海外英語研修」</u></p>	2017年3月

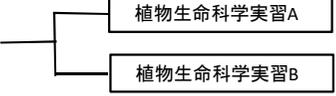
# 2015年度(平成27)年度 入学生対象 履修要項変更点

詳細については、<https://monkey.fks.ryukoku.ac.jp/~kyoga/risshu/#pdf> 参照

変更箇所	変更内容	変更前	変更後	変更年月																																			
6 【25ページ】 (3)履修辞退できない科目	履修辞退できない科目の追加	【集中講義科目】  【その他、農学部が設定する科目】  入門ゼミや実験・実習科目等は、クラスや班分けを行うため履修辞退をすると授業の運営に影響するため、履修辞退を認めません。また、インターンシップ科目等は受入先との事前調整を行うため、履修辞退を認めません。 「入門ゼミ」、「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」「農学部インターンシップA」「農学部インターンシップB」「海外農業体験実習」 その他、実験実習科目	【サマーセッション科目】  【その他、農学部が設定する科目】  入門ゼミや実験・実習科目・ <b>スポーツ技術学</b> 等は、クラスや班分けを行うため履修辞退をすると授業の運営に影響するため、履修辞退を認めません。また、インターンシップ科目等は受入先との事前調整を行うため、履修辞退を認めません。 「入門ゼミ」、「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」「農学部インターンシップA」「農学部インターンシップB」「海外農業体験実習」「スポーツ技術学」 その他、実験実習科目	2015年4月																																			
7 【30ページ】 1)追試験の受験資格	受験資格 文言の修正	1)追試験の受験資格 ①病気や怪我、試験時における体調不良等による受験が出来なかった者。 ②親族(原則として3親等まで)の葬儀により受験ができなかった者。 ③後任サークルの公式戦に選手として参加することにより受験ができなかった者。 ④資格試験(公務員試験、公的資格試験等)や就職活動(説明会、筆記試験、面接等)により受験ができなかった者。 ⑤単位互換科目(大学コンソーシアム京都科目、放送大学科目、環びわ湖大学・地域コンソーシアム科目)の試験により受験ができなかった者。 ⑥インターンシップ実習(協定型インターンシップ、大学コンソーシアム京都インターンシップ・プログラム、農学部インターンシップA・B)により受験ができなかった者。 ⑦交通機関の遅延等により受験ができなかった者。 ⑧交通事故や災害等により受験ができなかった者。 ⑨裁判員制度による裁判員(候補者)に選任されたことにより受験ができなかった者。 ⑩その他、学部教授会が特に必要と認めた者	追試験は次の各号のいずれかの理由により定期試験を欠席し、所属学部が認めると受験することができます。 ① 病気や怪我、試験時における体調不良等 ② 親族(原則として3親等まで)の葬儀への参列 ③ 公認サークルの公式戦への選手としての参加 ④ 交通機関の遅延等 ⑤ 交通事故、災害等 ⑥ 就職活動(説明会、筆記試験、面接等) ⑦ 資格試験(公務員試験、公的資格試験等)の受験 ⑧ 単位互換科目の試験受験 ⑨ インターンシップ実習(協定型インターンシップ、大学コンソーシアム京都インターンシップ・プログラムなど)又は博物館実習への参加 ⑩ 裁判員(候補者)への選任 ⑪ その他所属学部が特に必要と認める理由	2017年3月																																			
8 【32ページ】 2. 必修科目、選択必修科目、選択科目、随意科目	文言修正	「必修科目」とは、卒業要件を満たすために必ず履修しなければならない科目です。	「必修科目」とは、卒業要件を満たすために <b>必ず単位修得</b> しなければならない科目です。	2016年3月																																			
9 【36ページ】 6. 英語科目以外の外国語科目の概要	文言修正	<table border="1"> <thead> <tr> <th>授業科目</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ドイツ語、フランス語、中国語、コリア語「I A」及び「I B」</td> <td>「未知なることば」への入門</td> </tr> <tr> <td>ドイツ語、フランス語、中国語、コリア語「セミナーA」及び「セミナーB」</td> <td>異文化へのアプローチ</td> </tr> </tbody> </table>	授業科目	概要	ドイツ語、フランス語、中国語、コリア語「I A」及び「I B」	「未知なることば」への入門	ドイツ語、フランス語、中国語、コリア語「セミナーA」及び「セミナーB」	異文化へのアプローチ	<p>選択外国語科目には、新しい言語にチャレンジするための入門科目と発展科目であるセミナー科目が解説されています。より高度な運用能力(読む・書く・聴く・話す)の向上を図るとともに、そのことばが用いられている国・地域の文化的、社会的事情についての理解を深めることをめざします。</p> <p>(1)開講科目 開講科目は下記のとおりです。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">配当年次</th> <th colspan="2">1 年次</th> <th colspan="2">2 年次</th> </tr> <tr> <th>1  semester</th> <th>2  semester</th> <th>3  semester</th> <th>4  semester</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初修外国語</td> <td>ドイツ語 I A</td> <td>ドイツ語 I B</td> <td>ドイツ語セミナー A</td> <td>ドイツ語セミナー B</td> </tr> <tr> <td>初修外国語</td> <td>フランス語 I A</td> <td>フランス語 I B</td> <td>フランス語セミナー A</td> <td>フランス語セミナー B</td> </tr> <tr> <td>初修外国語</td> <td>中国語 I A</td> <td>中国語 I B</td> <td>中国語セミナー A</td> <td>中国語セミナー B</td> </tr> <tr> <td>セミナー</td> <td>コリア語 I A</td> <td>コリア語 I B</td> <td>コリア語セミナー A</td> <td>コリア語セミナー B</td> </tr> </tbody> </table>	配当年次	1 年次		2 年次		1  semester	2  semester	3  semester	4  semester	初修外国語	ドイツ語 I A	ドイツ語 I B	ドイツ語セミナー A	ドイツ語セミナー B	初修外国語	フランス語 I A	フランス語 I B	フランス語セミナー A	フランス語セミナー B	初修外国語	中国語 I A	中国語 I B	中国語セミナー A	中国語セミナー B	セミナー	コリア語 I A	コリア語 I B	コリア語セミナー A	コリア語セミナー B	2016年3月
授業科目	概要																																						
ドイツ語、フランス語、中国語、コリア語「I A」及び「I B」	「未知なることば」への入門																																						
ドイツ語、フランス語、中国語、コリア語「セミナーA」及び「セミナーB」	異文化へのアプローチ																																						
配当年次	1 年次		2 年次																																				
	1  semester	2  semester	3  semester	4  semester																																			
初修外国語	ドイツ語 I A	ドイツ語 I B	ドイツ語セミナー A	ドイツ語セミナー B																																			
初修外国語	フランス語 I A	フランス語 I B	フランス語セミナー A	フランス語セミナー B																																			
初修外国語	中国語 I A	中国語 I B	中国語セミナー A	中国語セミナー B																																			
セミナー	コリア語 I A	コリア語 I B	コリア語セミナー A	コリア語セミナー B																																			
10 【37ページ】 7. 教養教育科目 開設科目	科目の新設に伴う一覧表の修正		<p>2016年度から新設</p> <p>■総合科目 「<b>海外英語研修(2単位)第2セメスター配当</b> ※1年次生、2年次生のみ履修可。」</p> <p>※別紙「教養教育開設科目」参照</p>	2016年3月																																			

# 2015年度(平成27)年度 入学生対象 履修要項変更点

詳細については、<https://monkey.fks.ryukoku.ac.jp/~kyoga/risu/#pdf> 参照

変更箇所	変更内容	変更前	変更後	変更年月
11 【39ページ】 2. 履修必修科目について	文言修正	履修必修科目とは、専攻科目を学習するうえで基本となる科目の中から、特に履修するよう指導している科目です。	履修必修科目とは、専攻科目を学習するうえで基本となる科目の中から、 <b>必ず</b> 履修するよう指導している科目です。	2016年3月
12 【44・50・56・62ページ】 専攻科目 開設科目(全学科)	配当セメスターの変更	「キャリア形成論」 3年次前期	「キャリア形成論」 3年次 <b>後期</b>	2017年3月
13 【55ページ】 (2)専攻科目 開設科目 (食品栄養学科)	配当セメスターの変更	「食と嗜好の科学」 1年次 後期 配当	「食と嗜好の科学」 1年次 <b>前期</b> 配当 ※別紙「専攻科目開設科目(食品栄養学科)」参照	2016年3月
14 【56ページ】 (2)専攻科目 開設科目 (食品栄養学科)	配当セメスターの変更	「生化学」 1年次 後期 配当	「生化学」 1年次 <b>前期</b> 配当 ※別紙「専攻科目開設科目(食品栄養学科)」参照	2016年3月
15 【57ページ】 (2)専攻科目 開設科目 (食品栄養学科)	配当セメスターの変更	「臨床栄養管理学」 3年次 前期 配当	「臨床栄養管理学」_2年次 <b>後期</b> 配当 ※別紙「専攻科目開設科目(食品栄養学科)」参照	2015年9月
16 【58-59ページ】 カリキュラムフローチャート (食品栄養学科)	フローチャートの変更	/		※別紙「カリキュラムフローチャート(食品栄養学科)」参照 2016年3月
17 【53ページ】 (3)カリキュラムフローチャート(資源生物学科)	科目名称の修正	<b>【研究手法を学ぶ実習科目】</b> 	<b>【研究手法を学ぶ実習科目】</b> 	2016年3月

# 2015年度(平成27)年度 入学生対象 履修要項変更点

詳細については、<https://monkey.fks.ryukoku.ac.jp/~kyoga/risshu/#pdf> 参照

変更箇所	変更内容	変更前	変更後	変更年月
18 【68ページ】 (1)単位互換制度の概要 1)履修要件等	履修要件の変更	①教養教育科目 対象年次 1～3年次生 対象科目「大学コンソーシアム京都」及び「環びわ湖大学・地域コンソーシアム」の単位互換科目のうち、瀬田学舎教養教育科目会議にて、学則に定める教養教育科目のいずれかと読み替えて認定することが可能と判断された科目。 単位認定 各年次において、教養教育科目と専攻科目を合わせて4単位(3年で12単位)を上限として認定する。 その他 履修登録制限外とする。  ②専攻科目 対象年次 1～3年次生 対象科目「大学コンソーシアム京都」及び「環びわ湖大学・地域コンソーシアム」の単位互換科目のうち、瀬田学舎教養教育科目会議にて、学則に定める教養教育科目のいずれかと読み替えて認定することが可能と判断された科目。 単位認定 各年次において、教養教育科目と専攻科目を合わせて4単位(3年で12単位)を上限として認定する。 その他 履修登録制限外とする。	専攻科目 対象年次 1～3年次生 対象科目「 <u>大学コンソーシアム京都</u> 」及び「 <u>環びわ湖大学・地域コンソーシアム</u> 」の単位互換科目のうち、 <u>農学部教授会にて、学則に定める専攻科目のいずれかと読み替えて認定することが可能と判断された科目。</u> 単位認定 <u>各年次において、4単位(3年で12単位)を上限として認定する。</u> その他 履修登録制限外とする。	2016年3月
19 【72ページ】 履修要件等	認定単位数の変更 単位認定	認定単位数:1プログラム3単位 単位認定:「農学部インターンシップA」および「農学部インターンシップB」として認定します。	認定単位数:1プログラム <u>最大3単位として認められる場合があります。</u> 単位認定: <u>内容に応じて</u> 「農学部インターンシップA」および「農学部インターンシップB」として認定します。	2016年3月
20 【73ページ】	認定単位数の変更 単位認定	認定単位数:1プログラム3単位 単位認定:「農学部インターンシップA」および「農学部インターンシップB」として認定します。	認定単位数:1プログラム <u>最大3単位として認められる場合があります。</u> 単位認定: <u>内容に応じて</u> 「農学部インターンシップA」および「農学部インターンシップB」として認定します。	2016年3月
21 【75ページ】 4.「ライティングセンター」について	場所の変更	◆場所 1号館 セルフラーニングルーム  ◆開室日時 月・水・金 11:30～16:00(授業実施期間中) (※なお、ライティングセンターは2015年度9月頃に智光館(ラーニングcommons)へ移設します)	◆場所 <u>智光館 ラーニングcommons</u>  ◆開室日時 月・水・金 11:30～16:00(授業実施期間中)	2016年3月
23 【86ページ】 2.届出書・願書及び各種証明書 復学願の添付書類	添付書類の変更	理由書	<u>疾病の場合は回復診断書</u>	2016年3月
24 【87ページ】 各種証明書の交付申請	手数料の変更	(3)各種証明書の交付申請	※別紙「窓口事務PDF」参照	2017年3月

# 2015年度(平成27)年度 入学生対象 履修要項変更点

詳細については、<https://monkey.fks.ryukoku.ac.jp/~kyoga/rishu/#pdf> 参照

変更箇所	変更内容	変更前	変更後	変更年月
25 【88ページ】 学校学生生徒旅客運賃割引証(学割証)の発行	交付枚数の変更	交付枚数は原則として年度毎に10枚、1回の交付枚数は1週間に2枚以内です。 ※年間10枚を超えて必要な場合は、農学部教務課窓口で相談してください。	交付枚数は原則として年度毎に20枚、1回の交付枚数は1週間に2枚以内です。 ※年間20枚を超えて必要な場合は、農学部教務課窓口で相談してください。	2016年3月
26 【91ページ】 II 授業休止の取扱基準			2016年4月1日から新たな基準を制定しました。詳細は、本学ホームページを参照してください。 <a href="http://www.ryukoku.ac.jp/campus_career/support/classinfo/disaster.html">http://www.ryukoku.ac.jp/campus_career/support/classinfo/disaster.html</a>	2016年3月
27 【104ページ】 農学部教員名簿	教員名簿の変更		※別紙「農学部教員名簿」参照	2016年3月
28 表紙 裏	履修要項WEBサイトURLの変更	<a href="http://monkey.fks.ryukoku.ac.jp/~kyoga/rishu/">http://monkey.fks.ryukoku.ac.jp/~kyoga/rishu/</a>	<a href="https://monkey.fks.ryukoku.ac.jp/~kyoga/rishu/">https://monkey.fks.ryukoku.ac.jp/~kyoga/rishu/</a>  【変更事由】 Google Chromeをはじめとする各社のブラウザは、よりわかりやすいセキュリティ情報を配信するために、HTTPSのWebサイトを「安全」、HTTPのサイトを「危険」と表示するシステムを導入しました。これに伴い、本学もHTTPSでWebサイトを表示できるように対応しました。	2019年3月
29 【23ページ】 履修登録制限単位数 下から11行目	「成績優秀者の履修登録制限単位数に関する特別措置について」追記		■成績優秀者の履修登録制限単位数に関する特別措置について (※入学年度にかかわらず全ての在学生在が対象です) 成績優秀者(履修登録をおこなう学期の直前学期の累積GPAが3.5以上の者)については、農学部が定める所定の手続きをおこなった場合、履修登録制限単位数を各学期2単位(4年次は前期の履修登録時に4単位)拡大して登録ができます。 本特別措置の対象者には農学部教務課から申請方法等の詳細をお知らせしますので、特別措置を希望する場合は申請をしてください。	2020年3月

変更箇所	変更内容	変更前	変更後	変更年月																																																																													
<p>30 【34ページ】 1 教養教育とは 下から12行目</p>	<p>(3)カリキュラムマップを追加</p>		<p>専攻科目</p> <p>教養教育科目 (「仏教の思想」科目、言語科目、教養科目)</p> <p>低年次 ← → 高年次</p> <p>連携</p> <p>配当セメスター</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「仏教の思想」科目</td> <td>仏教の思想 等</td> <td colspan="8">本学の建学の精神を認識する</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">言語科目</td> <td>英語科目</td> <td colspan="8">外国語を媒介としたコミュニケーション能力の基礎を修得し、</td> </tr> <tr> <td>初修外国語科目</td> <td colspan="8">異文化理解を深めるとともに、自律的な学習態度を身につける</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">教養科目</td> <td>人文科学系科目</td> <td colspan="8">人間の様々な文化や過去の経緯を学ぶ</td> </tr> <tr> <td>社会科学系科目</td> <td colspan="8">現代社会の様々な場面に於いて立ちあられる多様な問題と向き合う</td> </tr> <tr> <td>自然科学系科目</td> <td colspan="8">社会人になってからの生活や社会活動を行うときに必要な科学的基礎知識と、論理的考察力、判断力を養う</td> </tr> <tr> <td></td> <td>スポーツ科学系科目</td> <td colspan="8">スポーツについての理解とその合理的な実践方法について学ぶ</td> </tr> </tbody> </table>			1	2	3	4	5	6	7	8	「仏教の思想」科目	仏教の思想 等	本学の建学の精神を認識する								言語科目	英語科目	外国語を媒介としたコミュニケーション能力の基礎を修得し、								初修外国語科目	異文化理解を深めるとともに、自律的な学習態度を身につける								教養科目	人文科学系科目	人間の様々な文化や過去の経緯を学ぶ								社会科学系科目	現代社会の様々な場面に於いて立ちあられる多様な問題と向き合う								自然科学系科目	社会人になってからの生活や社会活動を行うときに必要な科学的基礎知識と、論理的考察力、判断力を養う									スポーツ科学系科目	スポーツについての理解とその合理的な実践方法について学ぶ								<p>2020年9月</p>
		1	2	3	4	5	6	7	8																																																																								
「仏教の思想」科目	仏教の思想 等	本学の建学の精神を認識する																																																																															
言語科目	英語科目	外国語を媒介としたコミュニケーション能力の基礎を修得し、																																																																															
	初修外国語科目	異文化理解を深めるとともに、自律的な学習態度を身につける																																																																															
教養科目	人文科学系科目	人間の様々な文化や過去の経緯を学ぶ																																																																															
	社会科学系科目	現代社会の様々な場面に於いて立ちあられる多様な問題と向き合う																																																																															
	自然科学系科目	社会人になってからの生活や社会活動を行うときに必要な科学的基礎知識と、論理的考察力、判断力を養う																																																																															
	スポーツ科学系科目	スポーツについての理解とその合理的な実践方法について学ぶ																																																																															